



## 2024年4月期 第3四半期決算短信(日本基準)(非連結)

2024年3月8日

上場会社名 インスペック株式会社

上場取引所 東

コード番号 6656 URL <https://www.inspec21.com>

代表者 (役職名) 代表取締役社長兼代表執行役員 (氏名) 菅原 雅史

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員管理部長

(氏名) 佐藤 保

TEL 0187-54-1888

四半期報告書提出予定日 2024年3月8日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2024年4月期第3四半期の業績(2023年5月1日～2024年1月31日)

#### (1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年4月期第3四半期	459	55.8	412		435		460	
2023年4月期第3四半期	1,039	13.9	198		246		244	

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年4月期第3四半期	115.02	
2023年4月期第3四半期	62.09	

(注)2023年4月期第3四半期及び2024年4月期第3四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式は存在するものの、1株当たり四半期純損失であるため記載しておりません。

#### (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年4月期第3四半期	3,622	964	21.4	193.88
2023年4月期	3,977	1,407	31.0	309.68

(参考)自己資本 2024年4月期第3四半期 776百万円 2023年4月期 1,233百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年4月期		0.00		3.00	3.00
2024年4月期		0.00			
2024年4月期(予想)					

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2024年4月期の業績予想(2023年5月1日～2024年4月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,730	24.5	200		200		210		52.45

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

(注)当社では年次での業績管理を行っておりますので、第3四半期(累計)の業績予想の記載を省略しております。

## 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2024年4月期3Q	4,006,800 株	2023年4月期	3,983,800 株
期末自己株式数	2024年4月期3Q	192 株	2023年4月期	156 株
期中平均株式数(四半期累計)	2024年4月期3Q	4,004,937 株	2023年4月期3Q	3,940,233 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.2「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. 四半期財務諸表及び主な注記 .....	3
(1) 四半期貸借対照表 .....	3
(2) 四半期損益計算書 .....	5
第3四半期累計期間 .....	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項 .....	6
(継続企業の前提に関する注記) .....	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	6
(重要な後発事象) .....	6

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### （1）経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間（2023年5月1日～2024年1月31日）における世界経済は、ロシアによるウクライナ侵攻の長期化や中東での軍事衝突を要因としたエネルギー価格及び物価の高騰などの影響により、先行き不透明な状況が続きました。わが国経済につきましても、元日に能登半島地震が発生したことにより被災地では大きな被害を受け、経済にも暗い影を落としました。その一方で、依然として物価上昇が続いている中でも、雇用・所得環境の持ち直しや経済活動の正常化により、景気は緩やかな回復基調となりました。

このような経営環境の中、当社の当第3四半期累計期間の売上状況につきましては、半導体市場の足元の低迷による影響を受け、主に中国向け案件の受注・売上計画が当初計画より後ろ倒しになったことなどにより、当該期間の売上高は期初の計画を下回りました。

一方、当第3四半期累計期間の受注状況につきましては、当社の主力製品であるロールtoロール型検査装置及び高性能フラットベッド型検査装置の受注を国内外の顧客から獲得し、受注額は978百万円（前年同期比13.4%減）となり、当第3四半期会計期間末における受注残高は1,729百万円（前年同期比18.1%増）となりました。また、当社は販促活動の一環として2024年1月24日～26日に東京ビッグサイトで開催されました「第38回 ネプコン ジャパン-エレクトロニクス 開発・実装展-（主催：RX Japan株式会社）」に出展いたしました。国内外から多くの来場客が訪れ、複数の顧客から商談に繋がる問い合わせをいただくなど、活気ある3日間となりました。これらの取り組みが受注に結びつくよう、今後も一歩進んだソリューションを提案し、さらなる受注獲得に向けて取り組んでまいります。

新事業であるロールtoロール型シームレスレーザー直描露光装置につきましては、電気自動車の普及に伴いバッテリーマネジメントシステム向けなどの車載用フレキシブルプリント基板の需要が増加し、国内外のフレキシブルプリント基板メーカーより多くの問い合わせをいただいております。現在、複数の顧客と装置導入に向けた評価を行っており、「長尺シームレス両面同時露光」による品質の安定性、高スループット及び低ランニングコストなどについて高い評価をいただいております。また、より高精細化するニーズに対応するための技術開発も進めており、自動車業界のみならず幅広い市場のニーズに応えるべく、引き続き受注獲得に努めてまいります。

以上の結果、当社の当第3四半期累計期間の売上高は459百万円（前年同期比55.8%減）、営業損失は412百万円（前年同期は営業損失198百万円）、経常損失は435百万円（前年同期は経常損失246百万円）、四半期純損失は460百万円（前年同期は四半期純損失244百万円）となりました。

当社は「基板検査装置関連事業」の単一セグメントであるため、セグメント別の業績は記載しておりません。

### （2）財政状態に関する説明

当第3四半期会計期間末における資産の部は、前事業年度末に比べ355百万円減少し、3,622百万円となりました。これは主に、現金及び預金134百万円の減少、受取手形、売掛金及び契約資産675百万円の減少、電子記録債権340百万円の減少及び仕掛品800百万円の増加によるものであります。

負債の部では、前事業年度末に比べ87百万円増加し、2,658百万円となりました。これは主に、支払手形及び買掛金62百万円の減少、短期借入金300百万円の増加及び長期借入金115百万円の減少によるものであります。

純資産の部では、前事業年度末に比べ443百万円減少し、964百万円となりました。これは主に、四半期純損失460百万円の計上によるものであります。

### （3）業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年4月期の通期の業績予想につきましては、2023年12月8日に公表いたしました業績予想から変更はありません。なお、業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報と合理的であると判断する一定の前提に基づき当社が判断した見通しであり、実際の業績は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2023年4月30日)	当第3四半期会計期間 (2024年1月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	605,141	471,138
受取手形、売掛金及び契約資産	993,780	318,336
電子記録債権	366,149	25,405
仕掛品	626,064	1,426,120
原材料及び貯蔵品	201,545	208,797
その他	53,275	136,161
流動資産合計	2,845,957	2,585,960
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	461,686	446,632
構築物（純額）	24,042	21,958
機械及び装置（純額）	391,855	292,578
車両運搬具（純額）	137	85
工具、器具及び備品（純額）	22,852	29,709
リース資産（純額）	25,062	18,831
土地	92,440	95,440
建設仮勘定	46,068	74,779
有形固定資産合計	1,064,145	980,015
無形固定資産		
その他	40,426	45,226
無形固定資産合計	40,426	45,226
投資その他の資産		
その他	27,405	11,174
投資その他の資産合計	27,405	11,174
固定資産合計	1,131,977	1,036,416
資産合計	3,977,935	3,622,377
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	88,773	26,392
短期借入金	1,200,000	1,500,000
1年内返済予定の長期借入金	154,224	154,224
未払法人税等	33,897	—
契約負債	—	76,261
製品保証引当金	4,388	1,067
賞与引当金	32,945	17,255
役員賞与引当金	6,000	3,000
その他	105,429	52,526
流動負債合計	1,625,658	1,830,726
固定負債		
長期借入金	815,534	699,866
長期未払金	106,591	106,591
繰延税金負債	—	5,843
リース債務	22,390	15,011
資産除去債務	315	316
固定負債合計	944,830	827,629
負債合計	2,570,488	2,658,356

(単位：千円)

	前事業年度 (2023年4月30日)	当第3四半期会計期間 (2024年1月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	802,566	810,462
資本剰余金	203,621	211,516
利益剰余金	227,834	△244,749
自己株式	△372	△426
株主資本合計	1,233,649	776,801
新株予約権	173,796	187,219
純資産合計	1,407,446	964,021
負債純資産合計	3,977,935	3,622,377

(2) 四半期損益計算書  
(第3四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自 2022年5月1日 至 2023年1月31日)	当第3四半期累計期間 (自 2023年5月1日 至 2024年1月31日)
売上高	1,039,780	459,135
売上原価	700,040	249,100
売上総利益	339,740	210,035
販売費及び一般管理費	538,252	622,200
営業損失(△)	△198,511	△412,164
営業外収益		
受取利息	375	4
為替差益	2,291	5,105
補助金収入	1,656	3,630
雑収入	1,832	1,450
その他	777	1,139
営業外収益合計	6,932	11,329
営業外費用		
支払利息	20,866	24,641
貸倒引当金繰入額	13,369	3,994
手形売却損	—	2,132
株式交付費	1,007	1,291
シンジケートローン手数料	19,345	2,372
その他	235	—
営業外費用合計	54,823	34,431
経常損失(△)	△246,402	△435,266
特別利益		
固定資産売却益	—	49
新株予約権戻入益	1,825	—
特別利益合計	1,825	49
特別損失		
固定資産除却損	0	—
固定資産圧縮損	—	3,630
特別損失合計	0	3,630
税引前四半期純損失(△)	△244,577	△438,846
法人税、住民税及び事業税	869	2,696
法人税等調整額	△783	19,089
法人税等合計	86	21,786
四半期純損失(△)	△244,664	△460,633

（3）四半期財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（重要な後発事象）

該当事項はありません。